

機関紙 たいとう に
皆様の記事を
お寄せください！

掲載されれば500円のクオ
カードをプレゼントします。



東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel (3876) 1966 Fax (3875) 5965
(Mail) taitou@tokyo-doken.or.jp
(HP) http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛

2019年1月19日

平成最後の新春交歓会 労働者の適正賃金確保の年に！ さらなる飛躍の年に！



1月19日上野東天紅
で台東支部の新春交歓
会を開催しました。
遠藤委員長から昨年
支部創立60周年を盛大
に行われたことに感謝
するとともに、4年連
続して組織増勢できな
かったこと、若手育成
で少し前進した報告が
ありました。

今年統一地方選挙
そして夏には参議員選
挙があります。私達の
要求実現にむけて、しつ
かりと投票していきま
しょう。秋には消費税
が10%になるかもしれ
ません。選挙では世論
を味方に増税阻止をし
ていきましょう。
そして今年も働く労

働者の適正賃
金を確保する
ために要求、
請求運動に
も力を入れ
ていきましょ
うと挨拶が
ありました。
その後、
来賓の方々
の挨拶に続
き、分会表
彰となり、
清川分会に委
員長賞、松が
谷分会に組織
部長賞が贈ら
れました。鏡
開きのあと、
島貫常任の発
声で乾杯とな
りました。

二部でも来
賓の挨拶に続
き、ばばのりこ&江森
孝之によるシャンソ
ンとカンツォーネの軽快
な歌で盛り上げました。
そしてお待ちかねの
恒例の新春福引となり
ました。景品は全部で
10本。番号札が読み上
げられるたびに歓声と
ため息が聞こえてきま
す。今回1等にはデイ



1等当選の堀川さん家族

俊さんです。堀川さん
は御夫婦と2人の娘さ
んで初参加しました。
抽選会も終わりがな

思われましたが、おま
けがあり、なんと3万
円の商品券。
運を射止めたのは同
じく谷中分会の大工の
三富昭市さんです。
抽選会も終了し、支
部4役・常任が登壇し
挨拶のあと3本締め
終了しました。



谷中分会三富さん

台東支部でもtwitterを
始めました。
アカウント
@D Taitou



ばばのりこ&江森孝之

今月の1月25日の組
織登録日で18年中の組
織人員が確定しました。
18年1月当初人員は1
632人に対して、3
月25日迄に40人の目標
を目指しています。
様々な職種で人手不
足が深刻な問題となっ
ています。建設従事者
不足も深刻ですが、18
年は若干増加していて、
次年度以降も積極的に
採用していく状況となっ
ています。
次年度は従事者確保
の為に労働環境改善に
も取り組むようです。
特に土曜閉所の現場
を実現するとともに、
その分の賃金も補償す
る現場もできそう
です。

2019年1月 4年連続実増ならず！ 1599人に！

- ### 御来賓の方々
- | | |
|--|---|
| 本部・支部／【本部】
窪田副委員長・芳井常
任中執・齋藤常任中執
鈴木書記（足立支部）
真木副委員長・本多書
紀次長（荒川支部）五
十嵐副委員長（葛飾支
部）細貝副委員長（文
京支部）奥村副委員長
政党／中山ひろゆき都
議会議員 保坂まさひ
ろ都議会議員 あきま
洋区議会議員 鈴木の
ぼる区議会議員 鈴木 | 延子区議会議員 山口
銀次郎 青柳雅之区議
会議員 松島みどり衆
議院議員秘書 高山しゅ
うぞう
地域／台東民商・浦井
事務局長 林損保・林
大輝 劇団前進座（株）
寺田昌樹 芝健診セン
ター・巻山徹治（株）
きかんし・新田論 台
東法律事務所・金童介
高橋済 台東社保協
神田久男
順不同 敬称略 |
|--|---|



日本人の好きな「万
歳三唱」はこうして生
まれた。
平安中期の史書、三
代実録に、恒武天皇の
平安遷都の時、「群臣
ともに万歳と称して、
再拝踏舞す」とあり、
これが記録に残る「万
歳三唱」との事。
昔はバンザイをバン
ゼイと発音した。
万歳をバンザイと読
み、3辺唱えるように
なったのは、明治に入っ
てからで、第一声は帝
国憲法発布の、明治22
年2月11日。
代々木練兵場での発
布式典に際し、一高の
生徒たちが、何か祝賀
の声を発声という事
になり、教授に相談した。
そこで経済学の和田
垣謙三博士が、「万歳」
をバンザイと読み、三
回唱える事を提案。
最初は奉賀三唱の案
もあったが、ホウガ・
ホウガと続けると、
「阿呆が」に聞こえる
ので、「万歳三唱」に
決定。
そして当日、その万
歳が唱えられた。
これが「万歳三唱」
のはじまりだという。
(E)

青年部復活への道!!! 肉を喰らって多いに語る



1月29日、青年世代を対象とした支部独自のイベント『肉会』が開催されました。このよ支部限定イベントは、実に十数年振りです。当日はインフルエなど不良の体調不良での欠席もありましたが、書記1名を含め3事業所から合計8名(電工5名、通信工1名、硝子工1名)の参加で、メディアでも取り上げられたことのある「炙り肉寿司」を目一杯喰らいました。

その後自己紹介に入り、趣味の話から仕事の話やプライベートの話まで、アルコールを交わしながら大いに語り合いました。参加者の話では「普段同じ現場で見ているだけではわからない仕事の内容なので、今回知ることができて良かった」「一見簡単そうに出来ていても、実は技術が必要な作業であることなど、以前は知りませんでした」と感じます。

『青年部復活』というゴール(スタート?)に向けて、台東支部青年世代もこれから徐々に活動を増やしていく予定でおります。今後に乞うご期待下さい。

書記局 佐藤書記



今回は佃煮の老舗「鮎佐本店」です。(創業文久2年1862年)場所は江戸通りの浅草橋駅から蔵前方面に戻ればすぐです。ここは、叔父の元組合員の堀塗装のお得意先なのでよくいただいて食べていました。自分で買うようになって、



「鮎佐」がでているのですが、現在は濃い味がさらわられるのであまり雑誌にのらなくなりました。化学調味料や合成保存添加物はいっさい使用していません。「上品な辛さと後味の良さ」だが、最初に食べる「しよっぱい」

「あさぎ」がでているのですが、現在は濃い味がさらわられるのであまり雑誌にのらなくなりました。化学調味料や合成保存添加物はいっさい使用していません。「上品な辛さと後味の良さ」だが、最初に食べる「しよっぱい」

「あさぎ」がでているのですが、現在は濃い味がさらわられるのであまり雑誌にのらなくなりました。化学調味料や合成保存添加物はいっさい使用していません。「上品な辛さと後味の良さ」だが、最初に食べる「しよっぱい」

書初めに教室に悲鳴

12月27日という年の瀬にも関わらず、今年初の書初めには大人13名、子供20名もの人数が集まりました。これには役員一同あたた

な気持ちで迎えました。しかし担当役員の方が写真撮ってくれたり、書記の方も色々なアイデアを出して動いてくれたりと大助かりでした。筆者を持つ真剣な子供達の姿に講師である新藤間さんの指導にも熱が入り、次々と素晴らしい作品が出来上がっていききました。後半のパフェ作りでは初めてのお母さん方も大きなお子さんも進んでお手伝いに参加してくれて、ブルーシートの上に各々丸くなって座っている姿はまる

た豪華配役陣が勢揃いでした。物語は保育園の疎開が決まることから始まり、疎開先を探すが困難で空襲の恐れがなく、空いている住まいがあり、地元の人々が食糧を分けてくれるといった都合のいい場所(現蓮田市)にあるお寺を所長が見つけたが、ガラス戸さえない荒れ寺でした。みんなで暮らせるようにお掃除し、なんとか寝る場所と食べる場所は作りました。疎開生活が始まりました。

村の協力者の代表者たちのお礼をかねた夕食会で、保母たちはお酌させられたり、消費班(何1つ生産しない、食料を消費するばかりの無駄な班)と蔑まれ、親から幼い子供を離してこれで良かったのだろうか?と主任保母の楓(戸田恵梨香)は思いました。

それでも楓は「私たちに健康な身体とほほどの脳みそがある。それを使って一つずつ解決しよう。そして私達の文化的生活を作ろう」と語りかけました。

毎日ひたむきに励ましているが奮闘していたが、1945年3月10日、東京で大きな空襲があり、彼女たち

にも空襲の影が迫って来ました。8月14日疎開先にも空襲警報がなり、みんなあわてて逃げようとする、楓が「もう15年も逃げまわり、日本のどこに行っても逃げるところはない」と嘆きくずれましたが翌日終戦となりました。戦争中の生きることだけが大変なときに、子どもたちに文化的な生活をさせたという思い、光枝(大原櫻子)のオルガンと歌声の素晴らしさ、童謡を歌う子どもたちの姿が心にしみました。

2月22日(金)から全国ロードショーが始まります。ホントに感動する映画なので是非、観に行ってください。

支部では通常1200円の前売券を500円で発売しています。

松が谷分会 遠藤知子



1月29日東銀座の東劇で『あの日のオルガン』の試写会に行ってきました。厚生文化部で今回推奨しているこの映画は40年たったやっとなり、映画化することができたそうです。東京も安全でなくなつた1944年、国の決定を待たずして日本に初めて保育園を疎開させることに挑んだ保母たちがいた。誰もが自

た豪華配役陣が勢揃いでした。物語は保育園の疎開が決まることから始まり、疎開先を探すが困難で空襲の恐れがなく、空いている住まいがあり、地元の人々が食糧を分けてくれるといった都合のいい場所(現蓮田市)にあるお寺を所長が見つけたが、ガラス戸さえない荒れ寺でした。みんなで暮らせるようにお掃除し、なんとか寝る場所と食べる場所は作りました。疎開生活が始まりました。

村の協力者の代表者たちのお礼をかねた夕食会で、保母たちはお酌させられたり、消費班(何1つ生産しない、食料を消費するばかりの無駄な班)と蔑まれ、親から幼い子供を離してこれで良かったのだろうか?と主任保母の楓(戸田恵梨香)は思いました。

それでも楓は「私たちに健康な身体とほほどの脳みそがある。それを使って一つずつ解決しよう。そして私達の文化的生活を作ろう」と語りかけました。

毎日ひたむきに励ましているが奮闘していたが、1945年3月10日、東京で大きな空襲があり、彼女たち

にも空襲の影が迫って来ました。8月14日疎開先にも空襲警報がなり、みんなあわてて逃げようとする、楓が「もう15年も逃げまわり、日本のどこに行っても逃げるところはない」と嘆きくずれましたが翌日終戦となりました。戦争中の生きることだけが大変なときに、子どもたちに文化的な生活をさせたという思い、光枝(大原櫻子)のオルガンと歌声の素晴らしさ、童謡を歌う子どもたちの姿が心にしみました。

2月22日(金)から全国ロードショーが始まります。ホントに感動する映画なので是非、観に行ってください。

支部では通常1200円の前売券を500円で発売しています。

松が谷分会 遠藤知子

【日時】3月9日(土) 午前11時開会

【場所】支部会館3階

【締切】2月28日(木)

女性の会 (あさがお) 総会のお知らせ